

第三者による学校評価報告書(令和4年度)

令和4年度の第三者による学校評価委員会を開催し、「奄美情報処理専門学校」の自己評価結果及び発表内容をもとに、第三者及び学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日 令和5年5月19日(金)

第三者による学校評価委員会……5名

学識経験者1名、企業関係者1名、地域住民代表1名

卒業生代表1名、保護者代表1名

評価コメント

評価	評価に係る提言・改善等
(1)教育理念・目標 外部講師による様々な特別授業を実施することが出来、社会的ニーズに合った人材を輩出している。	地域社会の発展と人材育成の要として、専門学校は様々な活動を一生懸命取り組んで頂きたい。
(2)学校運営 例年通りの教育成果を達成できている。 コロナウィルス対策にてリモート授業など取り組んでいる。	今後リモート社会になった時、時代に遅れない教育環境作りを頂きたい。 対面授業との使い分けも意識してもらいたい。
(3)教育活動 カリキュラムの見直しも担当講師と相談しながら、先進技術を意識して教育活動を行っている。 概ね順調に教育成果を達成できている。	実務型授業を更に拡大してほしい。 IT業界は情報変化が著しく、カリキュラムの見直し適正化を図ってほしい。特に社会人基礎力の育成（特にコミュニケーション）に注力すること。

(4)学修成果 コミュニケーション能力育成の重要性は、職員間で共有できている。 学習意欲の低下防止を学校全体で取り組めよう務める。	採用企業側は全てコミュニケーション能力の大切を話しており、もっと授業にも取り入れてほしい。 学習意欲を高める為、学生中心のイベントや催し物など楽しめる行事を行っていただきたい。 修学旅行及び研修旅行は行けるならぜひ行っていただきたい。
(5)学生支援 本校独自の給付型奨学金や日本学生支援機構奨学金制度など様々な充実した手当を備えておくよう努める。※現在2社が学生に対し、学習成果により修学のため給付奨学金を支給している。	昨今の社会情勢でとても現場は大変だと思うが、引き続き学生に対して手厚い対応を望みます。
(6)教育環境 県外から特別授業として、プロの講師が直接指導教育して頂ける環境を整備しており、実際の業務レベルで講習を受けられる環境を整備している。	企業、現在も実務に携わる講師から直接学べるのはとてもいい機会だと感じる。 来年度も継続できるよう企業との連携を図ってください。
(7)学生の受入れ募集 留学生新入生が今年は0人でした。コロナ過を考えさせられる状況です。 島内だけに限らず、島外の募集を考えないといけない。	学校規模で考えると、募集と受入は適切に行われている。島外に対してうまくPR出来れば尚良い。 島外に就職した卒業生の声やSNSを駆使して告知を頑張っていただきたい。
(8)財務 高等教育段階の教育費負担軽減新制度の対象校として認定されたので多少学生が増え財務敵にも安定している。	補助金なしで健全に行っている。 安定化を目指し努力してください。

(9)法令等の遵守 学生には社会学として学校教育法の基本的部分と年金や選挙参加など積極的に法令の遵守は推奨しています。	法令等は厳守しており、授業でも行っているので、引き続き継続してください。
(10)社会貢献・地域貢献 年に最低1回地域の川に入りゴミの回収をやっている。 高校に出向いてプログラミングの指導をしている。	積極的に社会貢献を行っている。 今後も様々な活動に取り組んでください。
(11)国際交流 新型コロナウイルス感染症の影響で、奄美大島島内の日本語学校が閉校になった。 本校は現在外国人留学生1名、留学生に対してのサポート体制強化と留学生に頼らない学校運営を目指す。	令和4年度留学生は1名卒業し、就職することができた。先生たちの頑張りの賜物だと考える。 引き続き手厚い教育をお願いしたい。

